ホンダ N BOXの内部抵抗値のリセットについて

■内部抵抗値のリセット

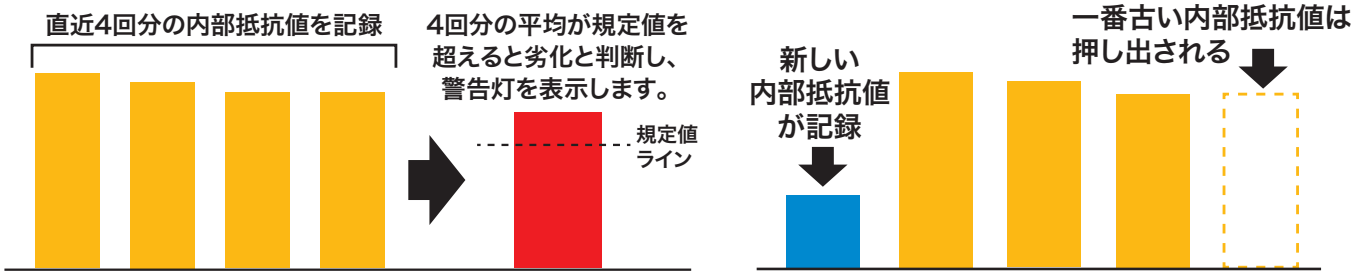
バッテリー交換前にアイドリングストップシステム警告灯が点灯していた場合、交換後すぐにアイドリングストップシステム警告灯が点灯することがあるため、リセット作業が必要です。

アイドリングストップシステム警告灯が点灯していない場合はリセットする必要はありません。

アイドリングストップシステム警告灯（オレンジ）

内部抵抗値の仕組み

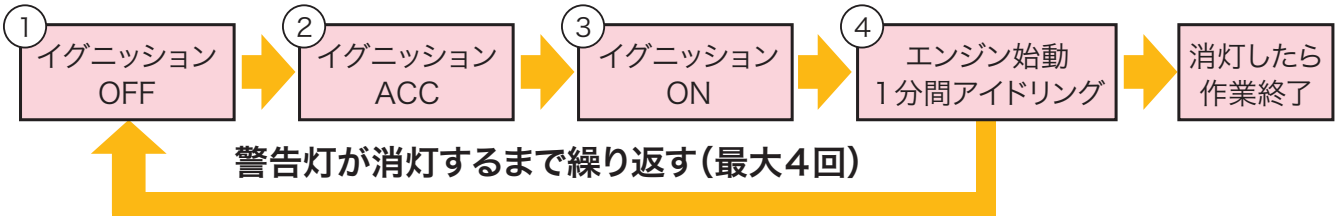
エンジン始動ごとにバッテリーの内部抵抗値を算出しECUに記録しています。その直近4回分の平均値を取り、基準値を超えた場合バッテリーが劣化していると判断し、アイドリングストップシステム警告灯が点灯します。
アイドリングストップシステム警告灯が点灯している場合は、記憶された古い内部抵抗値を新しい内部抵抗値に置き換えることで平均値を下げ、アイドリングストップシステム警告灯を消去してください。

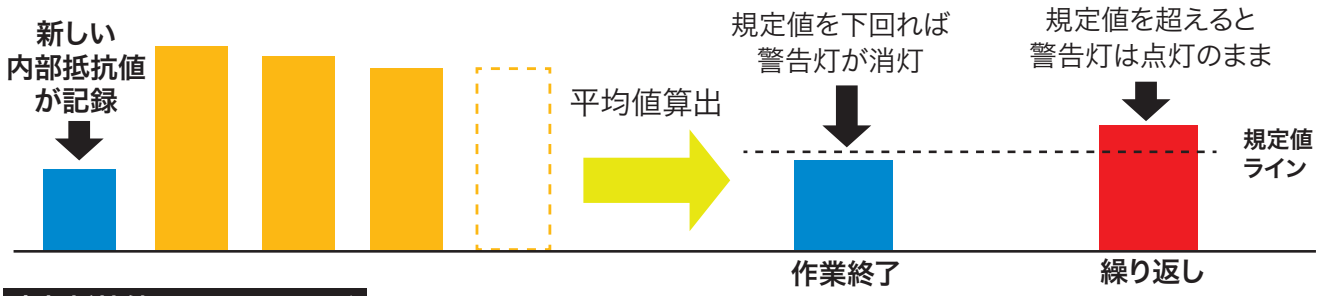


作業手順

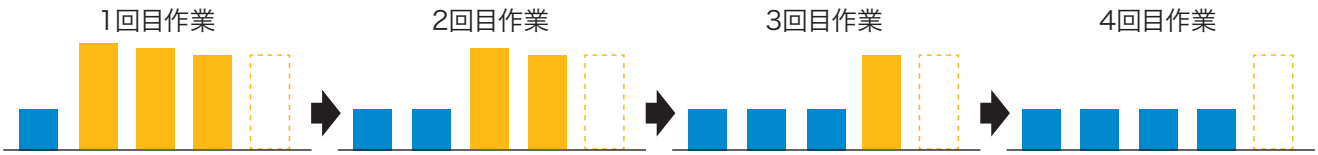
事前にヘッドライト、エアコン、オーディオ、ナビなどすべての電気負荷をOFFにしてから作業を行ってください。
下記の作業を行い、アイドリングストップ警告灯が消灯すれば終了です。

必ず1～4の行程を1つずつ行ってください。OFFから即エンジンを始動させるとリセットされない場合があります。





内部抵抗値リセットイメージ



4回目の作業で全て新しい内部抵抗値に更新され平均値が規定値を下回るため警告灯は消灯します。
4回以上作業を行ってもアイドリングストップシステム警告灯が消えない場合は、アイドリングストップシステムの異常や交換したバッテリーの異常、スターター作動回数が設定値を超えているなど、他に原因があると考えられます。